

新河岸川舟運 川越五河岸めぐり

新河岸川舟運の足跡を見て歩く

江戸時代の初期、今から380年程前に江戸と川越を結ぶ「新河岸川舟運」が開設されました。

人の移動や物資の輸送は、歩くか、牛・馬を利用するしかなかった時代に

- ・なぜ新河岸川舟運が作られ、どのような工夫がなされていったのか?
- ・舟運は、川越の町づくりにどのような役割を果たしたのか?
- ・300年近く続いた「新河岸川舟運」の終わりは……。

かつて栄えた河岸場跡を巡りながら、当時を偲んでみてはいかがでしょうか。

皆様のご参加をお待ちしています。

約4.5Km 約3時間

旧廻船問屋見学



旭橋より下新河岸、寺尾河岸方面を望む

期 日 令和元年 6月8日(土) 小雨実施

集合場所 東上線 新河岸駅東口広場

受付時間 午前9時～9時30分 募集人員 200名

参加費用 大人500円 小中学生200円(傷害保険・資料代等)

※当日、受付にて集金いたします。

申し込み 「FAX」または、「通常ハガキ」にて ちらし裏参照 締め切り6月3日(月)

湧水溢れる寺尾河岸跡

仙波東照宮再建の部材運搬のために使われた寺尾村五反田の船着き場の少し上流に開設された旧寺尾河岸。当時の隆盛の跡を古地図で辿ります。

【主催】公益社団法人

川越市シルバー人材センター

【後援】川越市

公益社団法人小江戸川越観光協会

小江戸川越観光推進協議会

【お問い合わせ先】

公益社団法人川越市シルバー人材センター観光案内係

〒350-0824 川越市石原町2-33-13

TEL 049-222-2075

受付時間(平日9時～16時30分)

FAX 049-222-8973